

2024年8月2日

沖縄県がん診療連携協議会
協議会委員 各位

医療部会長 有賀拓郎

厚生労働省委託事業として都道府県がん診療連携病院連絡協議会がん登録部会が毎年行っている『Quality Indicator 研究』は、がん医療の質の評価を計測する数少ない全国レベルの事業である。

現在、沖縄県では院内がん登録を行っている 18 施設のうち 11 施設がこの事業に参加している。自施設の結果や他施設との比較をフィードバックすることにより、その質の向上を図る可能性があり、非常に有用な事業であると考えられる。

昨年度決定した「第4次沖縄県がん対策推進計画（沖縄県がん診療連携協議会版）」でも、医療提供体制分野の中間アウトカムの指標として、この事業で算出されている項目のうち 11 項目が採用され、重要な指標となっている。

そのため、沖縄県全体の評価をすることを目標に、本事業に参加していない 7 施設のうち、DPC 参加施設である 5 施設に対して、本事業に参加することを希望する。

また、本事業では、未実施の際にその理由を診療録から情報を採取して未実施理由の記載を行い、より実地臨床に即した評価を行うことも行っている。現在、沖縄県では 3 施設が参加しているだけであるが、こちらも全施設が参加することを希望する。

そこで沖縄県がん診療連携協議会として、上記事業の未参加施設に対して、参加を呼び掛けることの審議をお願いしたい。

参考資料

1 『Quality Indicator 研究』について

平成 25 年から都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会の活動の一環として、院内がん登録と DPC 調査データを、リンク可能な形で匿名化して収集、統合的に分析することで多数の施設から作業負担を軽減しつつ測定活動を行っていくことを可能にしました（がん登録部会 QI 調査）。標準未実施の理由についてもその重要性に鑑み、DPC データでの算定後に検証を行う方式としています。

現在、がん診療連携拠点病院が 386 施設（拠点病院の 86%）、それ以外の施設が 205 施設の合計 592 施設が参加。

実際の分析は国立がん研究センターが行います。具体的な分析結果は、下記のような形で返されます。自院の各 QI の値が分かり、全国の参加 592 施設のなかでの順位等が分かります。

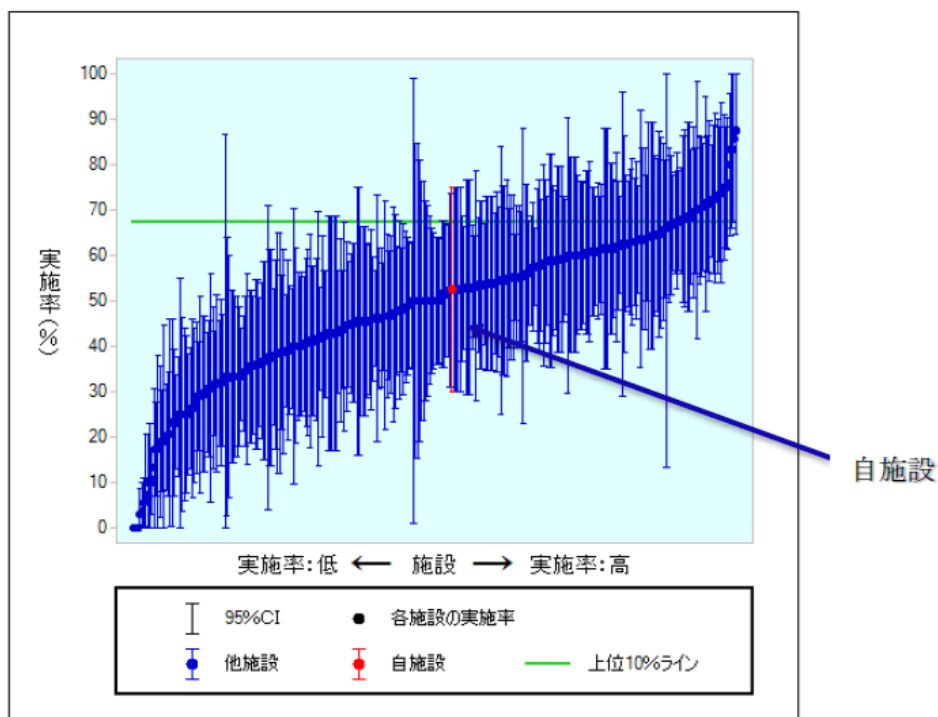
QI-c32 大腸癌への術後化学療法

分子：術後8週間以内に標準的補助化学療法が施行された患者数

分母：組織学的Stage IIIと診断された大腸癌患者数

コメント：

グループ全体：（対象患者数）9371（実施率）49% 自施設：（対象患者数）19（実施率）52.6%



2 院内がん登録をしている 18 施設の参加の状況

参加施設施設 (8 施設) ○

カルテレビューまで行っている施設 (3 施設) ◎

○北部地区医師会病院

◎沖縄県立中部病院

◎琉球大学病院

○那覇市立病院

○沖縄県立宮古病院

沖縄県立八重山病院 (今年度参加予定)

○中頭病院

○中部徳洲会病院

◎ハートライフ病院

国立沖縄病院 (DPC 未参加施設)

浦添総合病院

大浜第一病院

○沖縄協同病院

○沖縄赤十字病院

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

南部徳洲会病院

豊見城中央病院 (DPC 未参加施設)

○友愛医療センター

* 下線部の施設 (7 施設) に、『Quality Indicator 研究』事業への参加を呼び掛け、かつ未実施の際にその理由を診療録から情報を採取することも同時にお願いする

* ○の施設 (8 施設) に、未実施の際にその理由を診療録から情報を採取することをお願いする

令和6年8月2日

〇〇病院 院長
〇〇〇〇先生 机下

沖縄県がん診療連携協議会議長
大屋 祐輔

厚生労働省委託事業 都道府県がん診療連携病院連絡協議会がん登録部会
『Quality Indicator 研究』への参加のお願い

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

厚生労働省委託事業として都道府県がん診療連携病院連絡協議会がん登録部会が毎年行っている『Quality Indicator 研究』へのご参加をお願いいたします。

本事業は、がん医療の質の評価を計測する数少ない全国レベルの事業です。国内の主要な病院 592 施設が参加しています。沖縄県でも 11 の病院がすでに参加しています。

沖縄県がん診療連携協議会（以下、協議会）では、がん対策の進捗を見るために第4次沖縄県がん対策推進計画（協議会版）の医療提供体制分野の指標として 11 種類を取り入れています。

つきましては、沖縄県のがん医療に重要な役割を果たしている貴院に、この事業への参加をお願いいたします。

具体的には、DPC データの入院及び外来の E、F あるいは EF 統合ファイル（以下、総称して EF ファイル）を国立がん研究センターに提出をすることにより、既に国立がん研究センターに提供している院内がん登録データと連結し、標準治療の実施率 (Quality Indicator) を算定することになります。しかも、実際の分析等は、国立がん研究センターが行うので、貴院は新たに EF ファイルのみの提出だけで、この事業に参加することができます。

ぜひ、ご参加をよろしくお願い申し上げます。

*参加続き等の詳細は、別紙説明書をご覧ください。

敬具